

創価学会から温かな支援 図書館に児童書寄贈される

3月31日、山田町立図書館で創価学会寄贈書籍贈呈式が行われました。創価学会から寄贈されたのは、児童図書329冊。これは、東日本大震災の復興支援として行われたものです。式では、松島正明副会長から佐藤町長に目録が手渡されました。同会からの寄贈は今回で2回目、合計629冊になります。この支援に対し、佐藤町長から感謝状が手渡されました。

なお、寄贈された図書はホールに設置された書架に並べていますので、どうぞご覧ください。



絆が生んだコンサート 約300人が音色に聴き惚れる

4月8日、オカリナ奏者おだわらともあさん（群馬県在住）による「オカリナの風コンサート」が、町中央公民館で開催。これは本町出身の大川勤さんが「山田で演奏して欲しい」とおだわらさんへ伝えたことで実現したものの。前日にはおだわらさんから本町へ義援金の贈呈がありました。コンサートでは、全16曲を演奏。オカリナの心にしみわたる音色に、約300人の来場者は聴き惚れていました。同時開催した大川さんの切り絵展も好評を博し、2人の絆が生んだ素晴らしいコンサートとなりました。

2人が100歳の誕生日

佐藤町長が長寿を祝福

山田の上野サダさん（大正6年生まれ）が、3月26日に満100歳の誕生日を迎え、佐藤町長が長寿祝い金を手渡しました。若い頃はゲートボールでメダルやトロフィーをもらったこともある上野さん。趣味は編み物で、うまくいかなかったときは、何度でもほどいて再チャレンジしているそうです。

当日は家族9人が祝福。上野さんは、「長寿の秘訣はなんでも食べること。そしてなにより家族が良くしてくれるおかげです」と顔をほころばせていました。



飯岡の坪長五郎さん（大正6年生まれ）が4月10日に満100歳の誕生日を迎えました。59歳まで大沢の日東捕鯨に勤めた坪さん。60歳からは、知人が設立した東京の会社を70歳まで手伝っていたそうです。趣味は写真撮影で、撮った写真を眺めることが楽しみとのこと。長生きの秘訣は、「周囲から驚かれるくらい生きる」という思いを持つことと話し、食生活にも気をつけているそうです。当日は、祝福に訪れた佐藤町長を外まで見送る元氣な姿を見せてくれました。



町のわたい

今月の題字 佐々木悠翔君 (豊間根小6年)



笑顔で新たな門出迎えた 船越小学校で入学式開催

草木が茂り、新たな始まりを感じる4月。町内各所で入園式、入学式が行われました。4月10日には、船越小学校(千葉浩之校長)に男子5人、女子9人が入学。新入生14人は、6年生に続いて堂々と会場に入場しました。千葉校長が「元気なあいさつで地域に元気を届けてほしい」とあいさつ。それに対して、新入生は元気に「はい」と返事をしていました。式の終了後には、先輩児童が歓迎会を実施。運動会や水泳記録会といった小学校でのイベントを寸劇を通して紹介すると、新入生からは拍手が起っていました。

子どもに海での学習体験を 町で『海童丸』を建造

町では、小型船『海童丸』を建造しました。これは、町の子どもに海に親しみ、学習する機会を持ってもらうために造られたもの。費用の一部には株式会社NTTDコモ「東北応援社員募金」が充てられました。この募金は同社の社員が、東北の復興に役立ててもらおうと毎月311円を積み立てているもの。3月24日には、株式会社ティエフシー(神原潤社長)工場前で、寄付金の贈呈式が行われ、佐藤町長がNTTDコモ岩手支店の藤森浩一支店長に、感謝状を手渡しました。今後、町では『海童丸』を、子どもたちの海での体験やイベントなどに活用する予定です。

